

令和4年3月7日

# お知らせ



課名	障害福祉課	岡山県農福連携 サポートセンター
担当	齋藤、塚本	黒住、村越
内線	3610、3612	
直通	086-226-7345	086-222-0300

## ノウフク応援Webマルシェ“最優秀賞”を決定！

農福連携の取組により生産された農林水産物やその加工品の取組経緯を広く紹介し、ノウフク商品の認知度向上・販路拡大等を通じて農福連携の取組を応援するため、令和元年度まで7回にわたり「ノウフク野外マルシェ」を開催してきましたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、このたび、初めて、Web上で「ノウフク応援マルシェ」を開催し、最優秀賞を決定しましたので、お知らせします。

記

### 1 最優秀賞

#### 【農林水産物部門】 「ノウフクいちご」

杜の家ファーム（就労継続支援A型事業所）《岡山市》



ノウフクいちご



いちごの収穫作業

#### 【加工品部門】 「ソフト豆腐」

わくわくハンド・ベル（就労継続支援B型事業所）《総社市》



ソフト豆腐



大豆の脱穀作業

## 2 審査対象の商品

令和3年12月10日から令和4年1月17日まで募集した「ノウフク応援Webマルシェ」に出展し、第1次審査（事務局による書面審査）を通過した商品

- ・農林水産物部門 2点（総出展数 3点）
- ・加工品部門 14点（総出展数30点）

## 3 審査員（敬称略）

- 三浦 義明 （株式会社三浦学園 代表取締役社長）
- 太田 秀一郎（株式会社 JEI 代表取締役）
- 村上 康平 （株式会社天満屋岡山本店 カタログチーム 食品担当）
- 吉元 英明 （岡山県農林水産総合センター 6次産業連携コーディネーター）
- 齋藤 秀哉 （岡山県保健福祉部障害福祉課 総括参事）

## 4 出展作品の紹介

審査当日の各事業所からのプレゼンの様子等をホームページに掲載し、農福連携の取組の参考としていただくとともに、多くの人に商品の魅力を発信していきます。

（3月中旬掲載予定）<https://okanoufuku.selpokayama.com/>



### <参考>



「ハレの福産良品」ロゴマークは、岡山県独自の農福連携ブランドで、次の要件を全て満たすものに使用を認めています。

- ① 使用者
  - ア 県内の障害者就労施設
  - イ アの施設を構成員とする障害福祉団体
  - ウ アの施設を会員とする社会就労協議会
- ② 産品・産地
  - ア 県内の障害者就労施設の障害者が丹精込めて生産・加工した産品であること
  - イ 加工品の場合は、県内で生産された素材を主原料として使用していること
- ③ 安全安心
  - ア 生産及び加工のほか、販売に関する関係法令を遵守していること
  - イ 安全・安心に関する情報が開示されていること
  - ウ 生産体制が確立されており、継続的に一定量の生産・販売が可能であること